

TOTO オートストップサーモスタットシャワー金具・バス水栓

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けて下さい。取付後は、お客様にご使用方法を十分ご説明ください。

安全のために必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

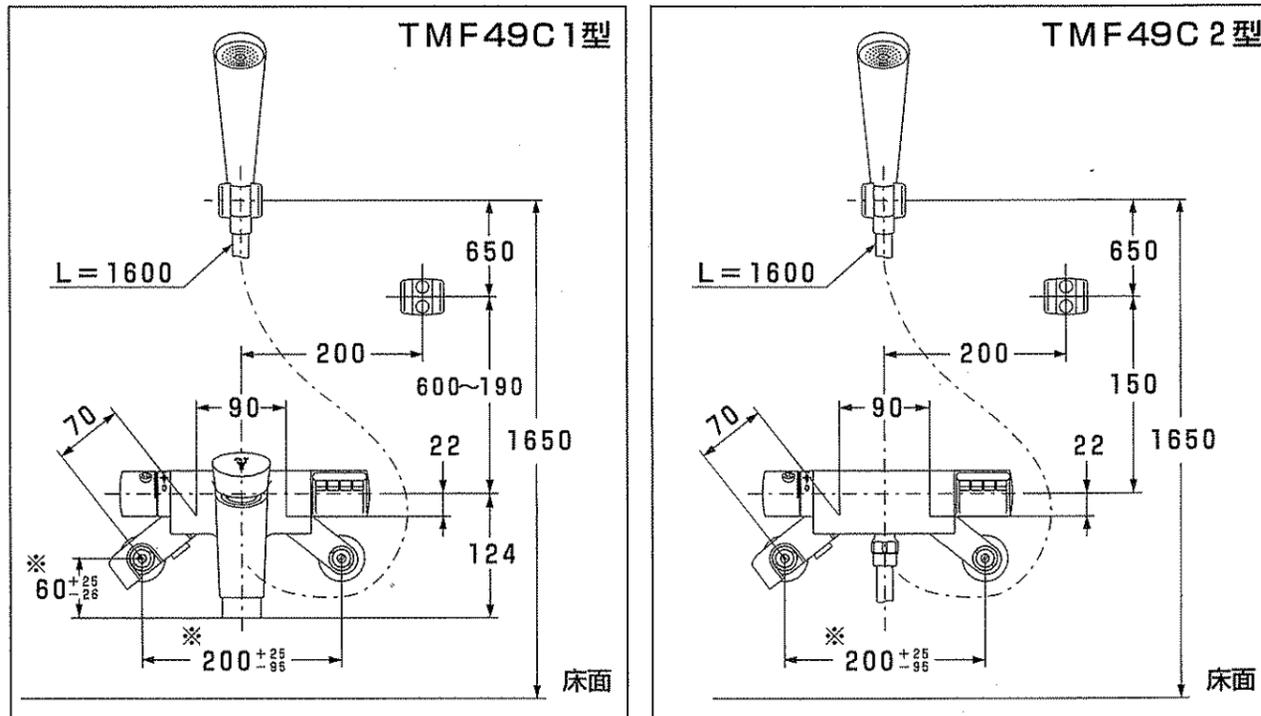
●この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。

△ 注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があります。

△ 注意

湯水を逆に配管しないでください。
水を出そうとしても、湯が出てやけどすることがあります。

完成図



※印は配管ピッチが（標準^{最長}）の場合です。
注）品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

使用条件

1. 使用水圧

(1) 瞬間型給湯機と組合せる場合

給水圧力 { 最低必要水圧…（下表参照）
最高圧力………0.75 MPa

器具入口部における最低必要水圧 (MPa)

給湯機タイプと号数		最低必要水圧
能力手動切替タイプ	12号	A+0.18
TOTO ハイカスタム	μ16	0.09
	μ20	0.08
TOTO ハイトリコン	μ16	0.07
	μ20	0.08
	μ21	
	μ24	
TOTO ハイコマンド	S16	0.08
	S20	
	Gμ24	
TOTO ハイアクティ	32	0.08
	40	

注) 表記のAは給湯機の最低作動水圧を示します。(比例制御タイプにはこの数値が含まれています。)

<設定条件>

- 止水栓・流量調節弁は全開
- シャワー吐水温度：42℃
- 給湯配管長さ：5m

a) 能力手動切替タイプの場合

- 給湯機温度調節は最高温に設定
- 水温の高い(25℃)夏期に着火させることを想定

※能力手動切替タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さく切替えると着火しやすくなります。

b) 比例制御タイプの場合

- 給湯温度は60℃に設定
- 水温の低い(5℃)冬期に約7L/minの吐水流量を確保するのに必要な圧力とする。

(2) 貯湯式給湯機と組合せる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要水圧…0.05 MPa
 { 最高圧力………0.75 MPa

※給湯圧力が0.75 MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。

但し、給湯圧力は給水圧力より高くないように設定してください。

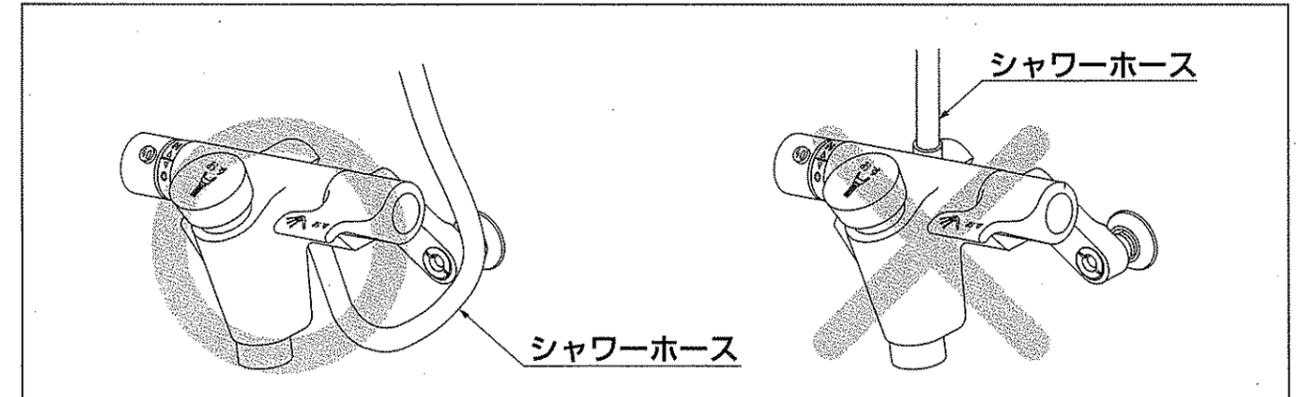
2. 給湯温度は使用する温度より10℃以上高くしてください。
3. 給湯に蒸気を使用しないでください。
4. 湯・水を逆配管しないでください。

なお、給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管してください。配管後は必ず保温材を巻いてください。

3. シャワーホースの取付け (シャワー金具の場合)

本体を取付脚に接続する前にシャワーホースを本体に取付けてください。シャワーホースは取付脚の下から取り出してください。

※シャワーエルボはねじ込みタイプのため締付けた時点より、下から取り出せる位置までもどしてからシャワーホースを取付けてください。

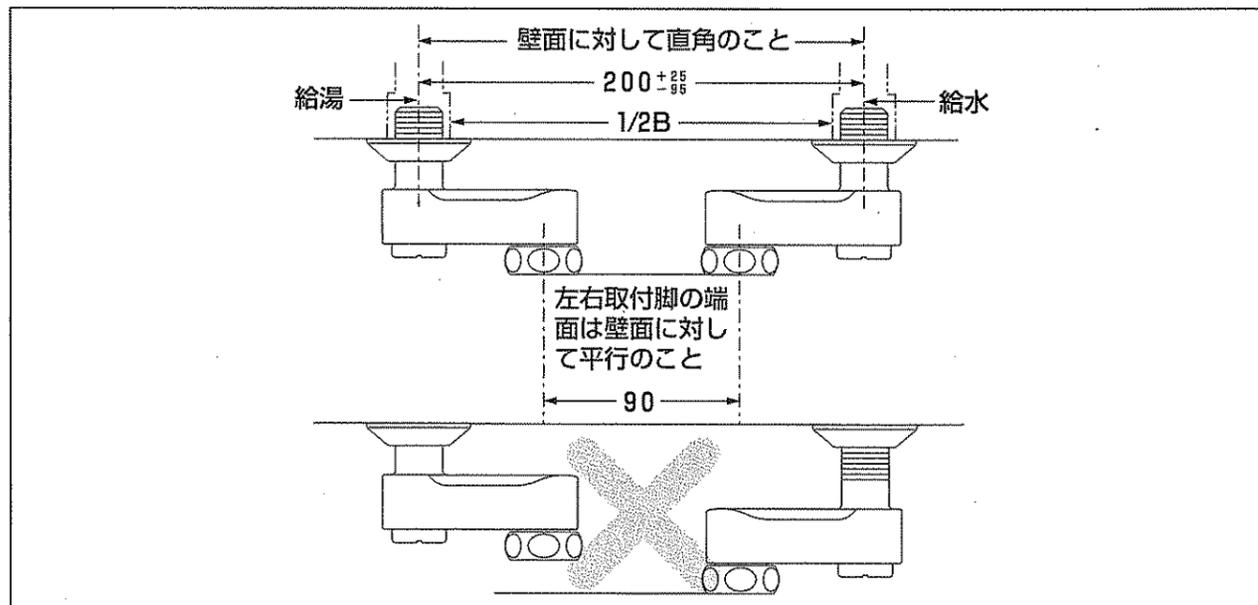


器具の取付け

1. 給水管内の掃除

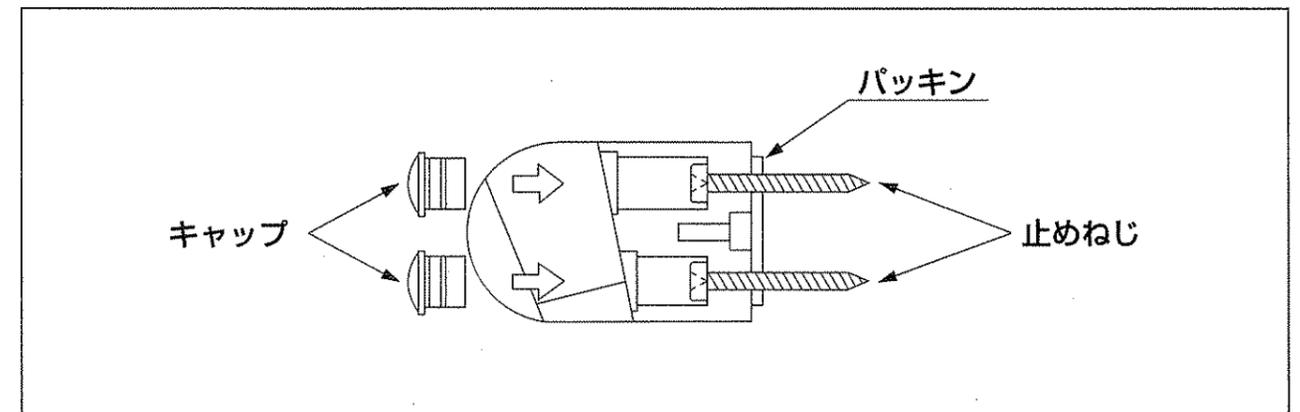
器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

2. 取付脚の取付け



4. シャワーハンガー取付要領

キャップ (シャワーヘッド回転防止ゴム) は、ねじ穴に確実に押込んでください。

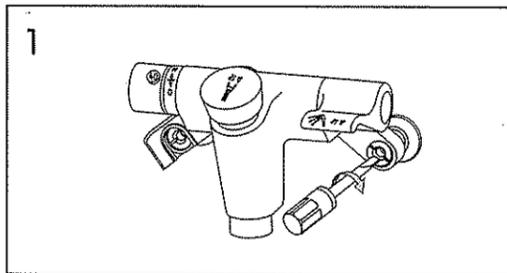


(自閉式) 施工説明書

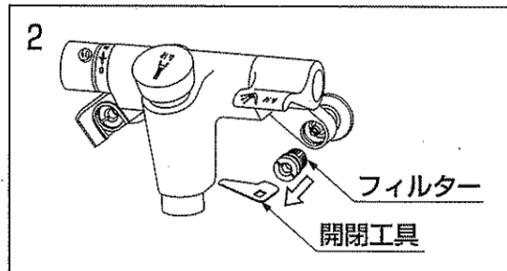
取付後の調節

1. フィルターの掃除

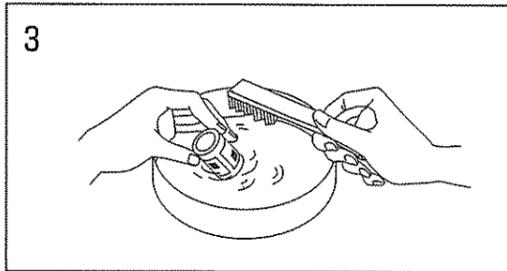
フィルターが詰まると吐水量が少なくなったり、水または熱湯しか出なくなったりするなど十分な機能が発揮されなくなります。器具取付後は、必ずフィルターを掃除してください。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご説明ください。



(1) マイナスドライバーで湯側・水側の止水栓を閉めてください。



(2) 開閉工具を溝に差込み、フィルターをゆるめて取出してください。

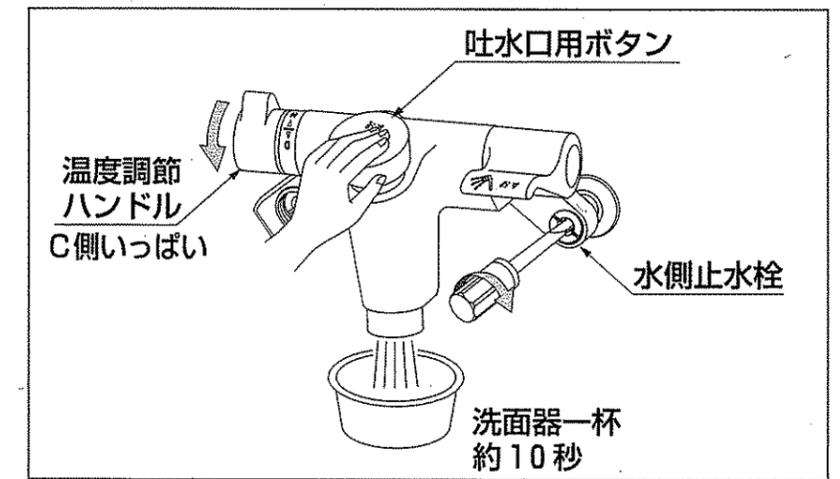


(3) フィルターの網目につまったごみをブラシなどで取除いてください。

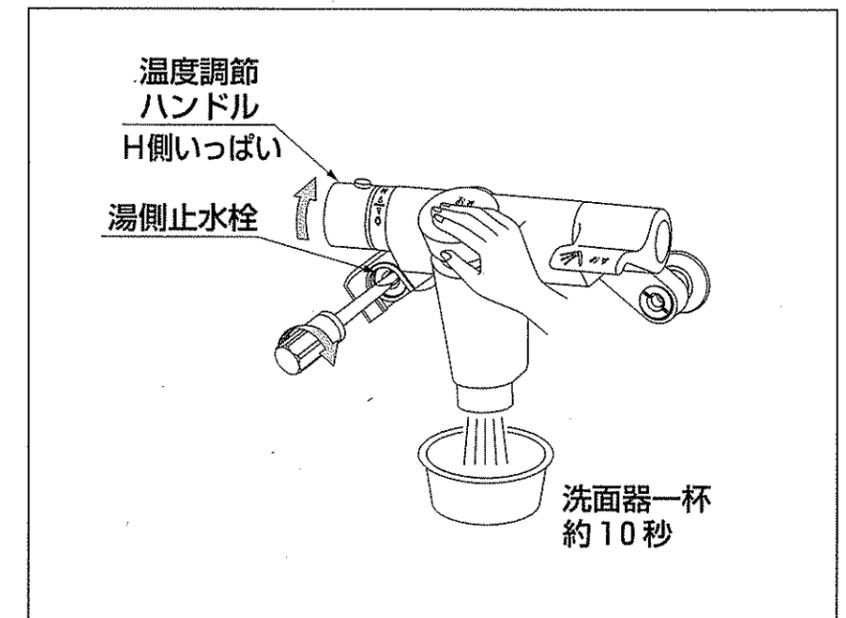
2. 吐水口の流量（水勢）の調節

製品の機能が十分発揮されるように、水圧の高い場合は次の要領で流量を調節してください。

- (1) 洗面器を吐水口下に置き、温度調節ハンドルをC側いっぱいに回します。吐水口用ボタンを押しつづけ、吐水量が洗面器一杯にするのに約10秒になるように水側止水栓を絞ります。(約15 L/min)

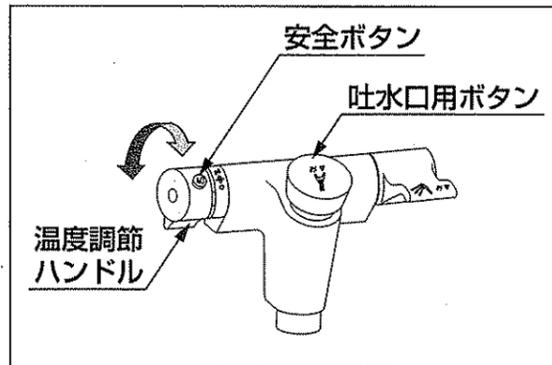


- (2) 温度調節ハンドルをH側いっぱいに回します。水側と同様に吐水口用ボタンを押しつづけ、吐水量が洗面器一杯にするのに約10秒になるように湯側止水栓を絞ります。(約15 L/min)

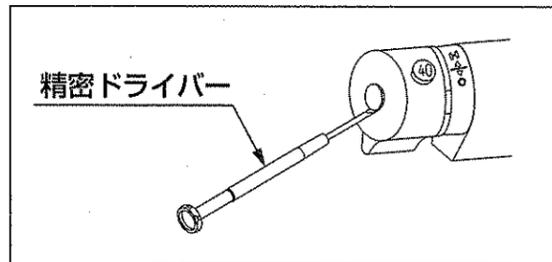


3. 温度の調節

工場で温度調節をしていますが取付現場の圧力状況などによって、目盛り通りの吐水温度にならない場合があります。その場合は次の要領で調節してください。調節する前に十分な温度（使用する温度より10℃以上）の湯がきているか確認してください。

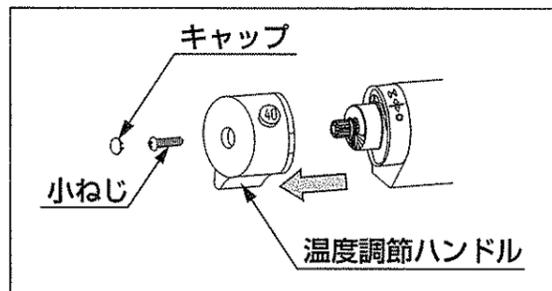


- (1) 吐水口より(但しTMF 49C2型の場合はシャワーより) 吐水させて温度調節ハンドルの目盛りに関係なく40℃の湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回してください。(高温側に回すときは安全ボタンを押してください。但し、安全のため、45℃以上の湯水は出ないようにしています。)



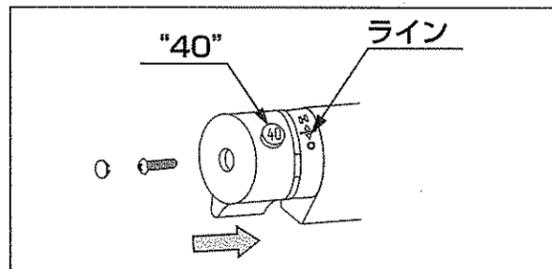
- (2) 温度調節ハンドルが回らないように注意してキャップ・小ねじをはずしてハンドルを抜取ってください。

※キャップは精密ドライバー等の先の細いものを使用し、めっき表面を傷つけないように注意しながらはずしてください。



- (3) 安全ボタンの“40”の文字とラインを合わせて温度調節ハンドルをはめ込み小ねじで固定してキャップを取付けてください。

- (4) 固定後に40℃の湯が出ているかご確認ください。



再生紙を使用しています。

吐水量の調節

吐水時間（シャワー側）及び吐水量（吐水口側）調節機能を備えていますので好みの吐水時間及び吐水量に調節することができます。

1. シャワー側の調整

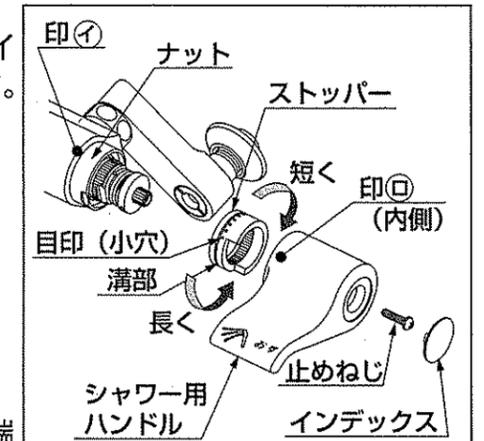
※まず、流量調節弁（TMF 49C2型の場合は湯側、水側止水栓）でシャワーの流量（水勢）をお好みの量に調節し、吐水時間を確認してください。（7～11L/minが目安です）流量（水勢）の調節を行っても好みの吐水時間が得られない場合は、次の要領で調節してください。

工場出荷時は一回の操作で25秒程度の吐水時間に調節しています。

- インデックス及び止めねじを取外します。
- シャワー用ハンドルを取外し、ストッパーの溝部にマイナスインドライバーなどを差し込み、ストッパーを取外します。
- ストッパーをはめかえて吐水時間を調節します。

目安としてストッパーの目印（小穴）を15°毎に設けております。
調節は半ピッチ（7.5°）毎できます。
半ピッチで約10秒の調節ができます。
右回転……吐水時間が短くなります。
左回転……吐水時間が長くなります。

- ストッパーの目印（小穴）を本体上①の印を目安にしてはめ込みます。なお、ストッパーの溝部がナットの端面と合うまでストッパーを押し込みます。
- シャワー用ハンドルを本体上②の印とハンドル内側の③印を合わせて取付け、止めねじを締付けます。
- シャワー用ハンドルを一度押して吐水時間を確認します。
- 好みの吐水時間に調節が終わったらインデックスを取付けます。

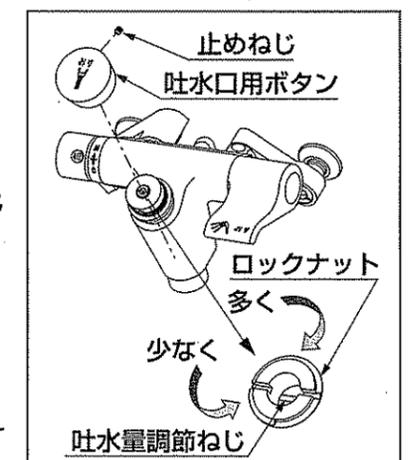


※印①と印②を確実に合わせてシャワー用ハンドルを取付けてください。印がずれるとお好みの吐水時間が得られなくなります。

2. 吐水口側の調節（TMF 49C1型の場合）

工場出荷時は一回の操作で洗面器一杯分（約3L）程度吐水するように調節しています。

- 止めねじを緩めて吐水口用ボタンを引抜き取外します。
- ドライバーでロックナットを緩めます。
- ロックナットの穴よりドライバーを差し込み、吐水量調節ねじを回転させて調節します。（一回転で約2Lの調節ができます。）
右回転……吐水量が多くなります。
左回転……吐水量が少なくなります。
- ハンドルを一度押して吐水量を確認します。
- 好みの量に調節が終わったらロックナットを確実に締付けた後、吐水口用ボタンをマークが正面を向くようにはめ込み、止めねじを緩まないよう十分締付けてください。

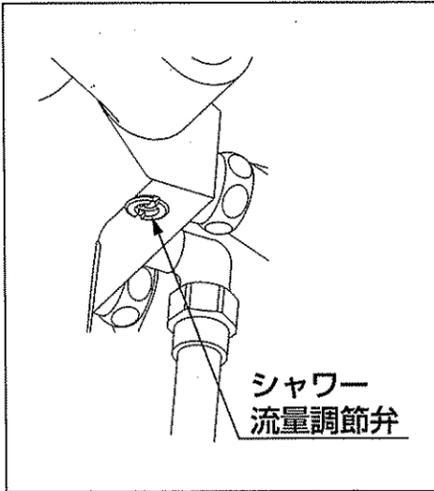


※付属の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

手渡しできない場合は、工事完了後、ハンドルなどに吊り下げておいてください。

流量(水勢)の調節

シャワーの流量(水勢)が強すぎる(または弱すぎる)場合は、本体下部にある流量調節弁(TMFC49C2型の場合は湯側、水側止水栓)をドライバー等で回して調節してください。なお、流量の調節を行うことによって吐水時間も自動的に調節されます。



お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご説明ください。

- 水栓の表面や樹脂部を傷つける以下のものは絶対に使用しないでください。
 - ・TOTO水あかクリーナー以外の酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤
 - ・シンナー、ベンジンなどの溶剤
 - ・TOTO水あかクリーナー以外のクレンザー、磨き粉など粗い粒子を含んだ洗剤
 - ・ナイロンたわし、ブラシなど
 もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いしてください。
- 水栓の表面や樹脂部に付着した水あかなどの汚れ落としにTOTO水あかクリーナーのご使用をお勧めします。TOTO水あかクリーナーは水栓に傷をつけずに汚れを効果的に除去します。お求めはお近くのTOTOショールームもしくはTOTOパーツセンターにお尋ねください。
- 軽い汚れの場合は水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って、汚れをふき取ってください。ひどい汚れの場合は、適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取った後、水洗いし、からぶきしてください。

分解と点検

取付後、万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行ってください。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

注:分解のときばねの中にクリーニングピンが付いていますので曲げないように注意してください。

現象	点検項目
流量が少ない	1・2・5・9
流量が多い	1・9
水が止まらない	3
高温しか出ない	1・2・4・5
低温しか出ない	1・2・4・5
目盛りどおりの湯が出ない	1・2・4・5
吐水時間が長い	6・8
吐水時間が短い	1・8
吐水量が多い	6・7
吐水量が少ない	1・7
吐水口の吐水が乱れる	10

注意 ※サーモユニットは特殊組立をしておりますので、絶対に分解しないでください。
※サーモユニットの清掃方法
歯ブラシなど

※ストッパーがはずれた場合は器具本体にサーモユニットを挿入後、ストッパーの切欠きを器具本体の溝に合せて挿入してください。